

令和 8 年度
千葉大学大学院
総合国際学位プログラム
(修士課程・第 1 回)
入試問題

【課題論述】

令和 7 年 9 月

※試験が開始されるまで、本問題を開かないでください。

※左上のステイプルを外して解答しても構いません。

※本問題は持ち帰ることはできません。試験終了後に回収します。

論述問題

次の文章は生成 AI と人権に関する論説です。論説を踏まえ、以下の質問に答えなさい。なお、解答は解答用紙に設問番号を明記してから記述すること。

(ただし、「III. 各国の AI 規制の動向」(26 頁途中から 28 頁の最後迄)は読み飛ばして回答して構わない。)

質問 1

生成 AI がもたらす「バイアスと公平性」のリスクについて、なぜ AI の出力結果に偏りが生じるのか、そのメカニズムを学習データの観点から説明しなさい。また、そのバイアスが「不可視化」され「永続化」されるとはどういうことか、本文の議論を基に説明しなさい。

質問 2

本稿は、クーケルバーグの「主人の悲劇」という議論を基に、AI による自動化が人間のあり方を根源的に変容させるという、やや悲観的な未来像を提示している。あなたはこの議論をどの程度説得的だと考えるか。この「悲劇」を回避し、人間と AI がより良い関係を築くために、社会や個人はどのような価値観を持つべきか、あなたの意見を述べなさい。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。

著作権の関係
で表示して
いません。